

<News Release>

報道関係各位

2017年2月15日

エムオーテックス株式会社

# 「VMware Horizon 7」の RDS ホスト型 (RDSH) アプリケーションに LanScope Cat が対応

エムオーテックス株式会社（本社：大阪市淀川区、代表取締役社長：河之口達也、以下 MOTEX）は、IT 資産管理・情報漏えい対策ツール“LanScope Cat”（最新バージョン 2017 年 1 月 25 日リリース）が、VMware 株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：ジョン ロバートソン、以下 VMware）の「VMware Horizon 7」の RDS ホスト型 (RDSH) アプリケーションに対応したことを発表します。これにより、多様化する IT 資産管理ニーズに幅広く対応し、よりセキュアな管理環境の実現が可能になります。

昨今、在宅勤務などワークスタイルの多様化に伴いデスクトップ仮想化を導入する企業が増えています。2016 年のデスクトップ仮想化の導入割合は、大企業では 40.8%、中堅企業では 25.5%、中小企業では 10.5%となっており、2014 年の調査と比較すると増加傾向にあります※1。しかしその一方で、ネットワーク接続が前提となるため、よりセキュアな環境での運用が必要となってきています。

MOTEX はこのような背景を受け、最新の“LanScope Cat”では、仮想デスクトップ環境でもより安全で生産性の高い環境を実現するため、これまでのセッションベースのデスクトップ環境に加え「VMware Horizon 7」の RDS ホスト型 (RDSH) アプリケーションに対応しました。

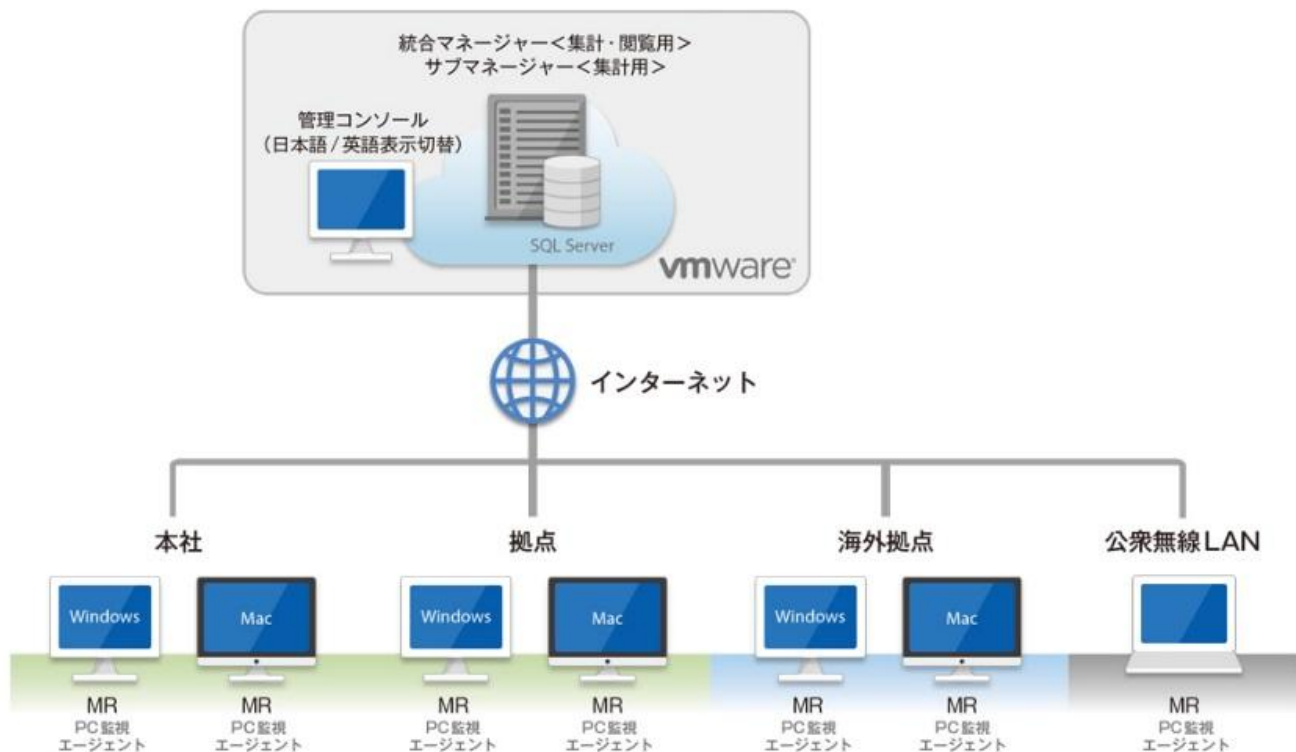
※1：キーマンズネット「デスクトップ仮想化の導入状況（2016）・前編」

## ■VMware 株式会社からのエンドース

VMware 株式会社はエムオーテックスの LanScope Cat が、VMware Horizon の提供するセッションベースのデスクトップと RDS ホスト型 (RDSH) アプリケーションに正式対応をしたことを心より歓迎いたします。VDI や RDSH の活用は一般的になり、その結果いつでも、どこでも、どんなデバイスでも仕事ができる環境が整いつつあります。LanScope Cat の RDSH への対応により、両社のお客様はビジネスの発展にきわめて重要な IT インフラの効率的な管理や、会社の重要な資産の安全性を高めるセキュリティの確保が可能になると考えています。

VMware 株式会社 ソリューションビジネス本部 本部長 小林 泰子

■“LanScope Cat”システム構成図（クラウド環境）



■“LanScope Cat”について

“LanScope Cat”は、多くの企業が抱える IT 資産管理や情報セキュリティ対策の課題を解決し、企業成長をサポートするセキュリティツールです。1996 年の発売以来、時代のニーズに応じて進化しつづけ、その結果多くの企業の信頼を集め、2016 年 1 月時点で LanScope シリーズの国内導入実績は 10,000 社※2 を突破。また、IT 資産 / PC 構成管理ツール部門で 12 年連続シェア No.1※3 となるほか、顧客満足度 No.1※4 など統合運用管理ソフトとして数々の賞を受賞しています。

LanScope Cat サイト：<http://www.lanscope.jp/cat/>

※2：当社調べ

※3：富士キメラ総研「2016 ネットワークセキュリティビジネス調査総覧 上巻」の「IT 資産 / PC 構成管理ツール」分野（2015 年度）

※4：中小企業向けセキュリティアワード 2015 「今後も利用し続けたい IT 資産管理製品 第 1 位」「誰かにすすめたい IT 資産管理製品 第 1 位」

■エムオーテックスとは

MOTEX は、ネットワークシステム管理・ネットワーク情報漏えい対策商品 LanScope シリーズの企画・設計・開発から販売を一貫して行っているメーカーです。MOTEX は、今後もお客様の企業利益を創出するセキュリティ対策をご提案します。

社 名： エムオーテックス株式会社

所 在 地： 〒532-0011 大阪市淀川区西中島 5-12-12 エムオーテックス新大阪ビル

代 表： 代表取締役社長 河之口達也

事業内容： 自社商品“LanScope シリーズ”の企画・設計・開発・販売

資 本 金： 2,000 万円

U R L： <http://www.motex.co.jp/>